

アコモード

タイムズ 第37号



編集・発行

社会福祉法人 アコモード

- 特別養護老人ホーム アコモード
- アコモード指定居宅介護支援事業所
- アコモードヘルパーステーション
- アコモード指定訪問入浴介護事業所
- ティサービスセンター アコモード
- グループホーム アンダンテⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アザレアⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アヴァンセⅠ・Ⅱ
- 特別養護老人ホーム アクワイール
- ティサービスセンター アクワイール
- キッズルーム アクワイール
- アンジェリカ保育園
- 我孫子市老人福祉センターつつじ荘
- 我孫子市布佐・新木地区地域包括支援センター
- アコモード相談支援事業所

千葉県我孫子市布佐1559-2
Tel.04(7189)5201・Fax.04(7189)5203



社会福祉法人アコモードでは認知症対応型共同生活介護事業・グループホームアンダンテを今年2月に開設しました。アンダンテとは

イタリア語で「歩くような速さで」の意味で、音楽用語で速度の一種として用いられています。その名の通り毎日の生活をゆっくり、しっかりと過ごしていただけたらと思っております。アンダンテは1ユニット9名が2ユニット、18名が生活できる施設です。入居条件は我孫子市にお住まいで認知症の状態にある方です。

高齢者の自主性を維持し、意欲的に日常を過ごしていくための介護と、自立した生活ができるように生活関連動作の支援を行う場です。居室はプライバシーを尊重し、すべて個室です。

現在入居して頂いている方は16名です。男性4名、女性12名。90歳代8名、80歳代6名、70歳代1名、50歳代1名で平均年齢は85歳です。入居されている方たちは高齢であるため、月2回ふさ聖仁会クリニックの郡司先生に往診に来ていただき健康管理にも留意しています。皆さん高齢ではありませんが、平均介護度は2と元気な方です。皆さん役割があり、居室、廊下、フロアー等の掃除をされる方、洗濯物をたたむ方、食器を洗ってくれる方がいらつしやいます。

ご利用者の楽しみの一つに、お食事があります。アンダンテのメニューは栄養のバランスを考え、当法人・特別養護老人ホームの管理栄養士が献立をたてています。お食事は、ご利用者・職員が和気あいあいと、楽しい時間となっています。また、日々の生活が充実するよう、お一人お一人の状態や好みに合わせたレクリエーションをご用意しています。近隣のイベントにも参加し社会交流を図っています。



◆アンダンテのご利用者がテラスで撮影した写真です◆

第20回 千葉県高齢者福祉研究大会

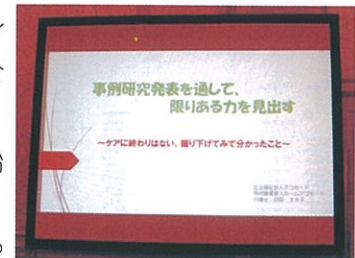
介護士 戸部 すえ子



平成二十七年一月二十八日 ちば高齢協主催「第二十回千葉県高齢者福祉研究大会」へ発表者として参加しました。

場所はオークラ千葉ホテル、発表は第六分科会まで分かれており、私は、第三分科会の実践介護塾での発表でした。

リハビリ・余暇・行事委員会で実施した事例研究の題材を元に課題に取り組みました。演題は「事例研究発表を通して、限りある力を見出す～ケアに終わりはない、掘り下げてみて分かったこと～」です。



発表するにあたり、パワーポイントを使用した資料作成から開始しました。まず、パワーポイントの操作や入力の方法から教わり、資料の内容については、見る人が見やすいように、文字の大きさや文字数を考慮すること、文章については、伝えたいことを簡潔化すると良いとのアドバイスを受けながら完成させる事が出来ました。

次に完成した資料を二十分間という限られた時間内で発表する練習をしましたが、どうしても早口になってしまい、聞き取りにくいとの指摘を受け、不安を抱えたままで本番を迎えることとなってしまいました。

当日の発表の順番は、参加施設の中で最後の五番目でした。他の施設の発表を聞いているうちは平常心を保てていましたが、発表が近づくにつれ、緊張が増し、心臓が張り裂けんばかりの状態でした。そんな中、他の分科会で発表を終えたアコモードの相談員とともに施設長と同僚が駆けつけてくださったことで、緊張が少し和らぎ、とても心強く感じました。相談員の「失敗してもいいから楽しもうよ」という言葉を胸に抱き発表に挑みました。緊張のあまり早口になったり、言葉を噛んだりしましたが、何とか二十分間の時間内に終える事が出来ました。帰り際に階段ですれ違った方から「とても聞きやすかったですよ」とお声を掛けて頂いて涙が出そうになりました。

発表を終えて、人へ伝えることの難しさを実感し、文章の組み立て方や文章を読む時の間の取り方、表現の仕方をもっと学ばなければならないと思いました。

また、他の施設の発表を聞いて、アコモードは適切なケアが行えており、きちんと記録が残っているからこそ発表に繋がられたのだと思いました。何かをしたい時には、必ず協力してくれる体制が整っていることが、まさしくチームケアが行き届いていることだと思います。



そんな環境の中で、ご利用者のケアに携われることを嬉しく思います。今後もご利用者の限りある力を見出せるよう頑張っていきたいです。

今回の発表は、ご家族様のご理解、職員の協力があったからこそ発表に繋がられたと思います。心から感謝申し上げます。また、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

アコモードターントリンピック参加

天候に恵まれた5月23日、我孫子市ゲートボール場にて第四十回我孫子市ターントリンピックにご利用者と参加しました。

車で会場に到着するとすでに玉入れが始まってました。各チームのメンバーが高く挙げられた籠に赤、白の玉を勢いよく投げ入れていきます。終了の合図でカウントが始まり観客の方々と「ひとつ」「ふたつ」と声が上がります。

勝敗がつくと皆で拍手し勝者を讃えました。観戦していたご利用者の皆様も少し興奮された様子で笑顔で拍手されていました。

さて、玉入れが終わるといよいよ私達の出番になりました。競技はボールを持った職員のもとに行きボールをキャッチしそのままゴールへ向かうという競技でした。皆さんスタート前からやる気満々で、生き生きとした目をさされてい



ました。ゴールすると参加賞を貰い皆さん誇らしげに抱えていらっしやいました。帰苑する車の中でも「こういう



のもたまにはいいね」と少し疲れた様子でしたが笑顔で仰られていました。

青空広がる空の下、我孫子市内の沢山の高齢者の方々が集まり行われた大運動会、初夏の小さな思い出となつて頂けたらと思えました。

アコモードでも小さな運動会が行われるので皆様のご活躍を期待したいものです。



アクイール そば打ち実演

5月某日、我々アクイールの元に、「江戸流手打ちそば 青山学舎」様がそば打ちの実演に来てくださいました。

アクイール正面玄関に会場を設置し、目の前でそば打ちを実演して下さり、うち立てのそばをこの日の昼食としてご利用者、全職員に振る舞っていただきました。

普段、お蕎麦を口にすることはあっても、そばを打っている所を目にすることは無く、ご利用者の皆様もその職人技に感嘆の声を漏らしておりました。

アクイールは職員の子供を預かる託児所が併設されております。

その託児所「キッズルーム」の子供たちも目の前でそば打ちを見学。いつも何気なく食べていたお蕎麦がどのように作られているのかを初めて目の当たりにして驚きを隠しきれませんでした。

ご利用者と子供たち、そしてもちろん我々スタッフもとても良い経験となりました。

「江戸流手打ちそば 青山学舎」の皆様、ありがとうございました。

アコモード・アクイール 夏祭り



今年も夏がやってまいりました！
世間は海に祭りにと盛り上がっ
ていることでしょう！

我々も例にもれず盛り上がって
いきましょう！

今年もやります夏祭り！

アクイールは開設2年目2回目
の夏祭り、昨年よりも更に良いも
のにしていくべく奮闘中です。

アコモードは従来行っていた夕
方からの短時間開催をアクイール
同様、13時から16時までの開催に
変更。初めての試みですが、ご利用
者だけでなく地域の方々にも楽
しんでいただけるよう創意工夫し
ております。

開催日は

◆アコモード 8月22日(土)

◆アクイール 8月29日(土)

となっております。両施設とも
バザーを開催いたします。皆様の
ご自宅でご不用となっているもの
などあれば、ぜひお持ちよりくだ
さい。

アザレア お好み焼きパーティー

梅雨入り間近でしたが気温も上がり
晴天となりました。中庭でテントを張
り、テーブルを並べての野外行事は、
風もさわやかで気分爽快だったと思わ
れます。お好み焼きには、春キャベツ
や貝がたくさん入っており、何度もお
代わりするなど満喫された様子でした。
今後ご利用者、ご家族の思い出に
残るイベントを企画していきたいと思
います。

大月 美紀子

当日は天気にも恵まれ少し風もあり
良かったです。お好み焼きはふっくら
してとても美味しく、息子はあちらこ
ちらに手を出し思う存分食べていまし
た。キャベツの塩もみやキュウリの丸
かじり、トマトといった野菜もしっか
り食べていましたので、とてもバラッ
スの良い食事でした。お腹はいっぱい

なのに、やはり別腹なのでしょうデザ
ートのアイスクリームもぺろりとお腹
に入っていました。親子共々美味し
く楽しい時間を過ごさせていただきま
した。職員の皆様には準備や後片づけ
さぞかし大変だったことのように楽
しい企画を催していただき本当に有難
うございました。 保護者より

みなさん喜んでくださったと思いま
す。お好み焼き、野菜など良く召上
がっておられました。デザートのアイス
クリームなどもある方はお皿によそっ
ては直ぐ食べ、作って頂くのが間に合
わないぐらいでした。ただ中庭が狭かつ
たために、移動していただくのにご不
自由をおかけしてしまつたのが残念で
した。 スタッフより



アンジエリカ保育園

◆手足口病◆

夏に気をつけたい感染症 《子ども編》

【症状】

手、足、口の中に米粒ほどの水疱性の発疹ができます。子どもの場合は肘や、膝、お尻にも発疹が出ることがあります。発疹は水疱状で、やがて破れて潰瘍になり、痛痒くなつてきます。口の中にできると、痛みで食事が困難になり、脱水症状を起すことがあります。発熱や下痢、嘔吐をともなうこともあります。嘔吐や頭痛が続く場合、心筋炎や髄膜炎を合併していることがあります。

【原因】

エンテロウイルスなどの腸管ウイルスやコクサッキーウイルスなどの感染。複数のウイルスがあるので、一度かかったら大丈夫という病気ではありません。感染経路は、風邪と同じように鼻汁・唾液などからの感染です。また便からも感染します。



【治療】

小児科に受診します。比較的重度にはならない病気ですが、口の中の痛みが強い場合は痛みを和らげる治療をします。刺激が少ない、のどごしの良い食事内容にし、水分補給を十分行います。

【対策】

松戸保健センターが主催する衛生講習会に毎年参加し、最新の情報を入手しスタッフ全員で共有しています。効果的な薬剤を使用するとともに、手洗い、うがいという基本を子ども、大人も守ることが大切と考えています。

食中毒・脱水予防研修

季節も梅雨・夏に入り、世間でも食中毒、脱水症予防への注意・関心が高まっております。

アキールでは食中毒・脱水の危険が高まる季節に先立ち、5月に研修会を開きました。

栄養士が講師となり食中毒の特徵やこれからの時期、特に注意が必要な食品、食中毒予防の三原則についてレクチャーしました。

(※三原則とは、食中毒の原因菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」です。これは厚生労働省の政府広報からも発表されているものです)

脱水症予防については、どのような方が脱水になりやすいのか、脱水時の症状、特徴とその改善策についての説明が行われました。

最後に脱水症予防に有効な「経口補水液」の作成について話を聞き、実際に作り試飲しました。

今回の研修を今後のケアに生かせるように職員同士での情報共有を密にし、施設内での食中毒・脱水症が発生しないように努めていきたいと思えます。

皆様に置かれましても、食中毒・脱水症には十分に注意して下さい。



資格取得者

おめでとうございます

◆社会福祉士

後藤 晴紀

◆介護福祉士

徳應 奏人

染谷 春奈

上田 哲哉

齋藤 真理子

日下邊 裕子

鏡谷 美佐子

安藤 さおり

伊藤 さつき

釜田 修

藤尾 真紀



「資格取得者の声」

染谷 春奈

この度、平成二十六年年度介護福祉士資格試験を受けさせて頂き、無事資格取得出来ました特養二階職員の染谷春奈と申します。

高校を卒業と同時に知識も経験もない状態でこのアコモードで介護を学び、今は五年目を迎えています。改めて現場以外で勉強をすると普段

業務の中で行っている以外にもこの介護については色々な知識が必要なのだと感じさせられました。身近に接している高齢者、今はご利用者の方々にその学んだ事をしっかりと活かし、より個人に寄り沿ったケアを行えたらと思っています。

何も知らない状態からのスタートでしたが、介護福祉士取得を機にこれからもより一層勉強を積み重ねてご利用者中心に様々な人のお役に立てたらと思っています。

今後とも宜しくお願い致します。

日下邊 裕子

今年度、沢山の方々に支えられ介護福祉士の資格を取得することができました。筆記試験の時は家族の協力が有り、実技講習の時には実技講習をして下さった、理学療法士や相談員のおかげで介護福祉士に合格しました。

施設長はじめ、沢山の職員の方々に「頑張ってる」と、激励の言葉を頂きました。本当にありがとうございます。

『介護福祉士』という名に恥じないよう、知識として技能の向上に努めご利用者のお役に立てるよう頑張っています。

「介護保険負担割合証」 ご確認ください。

介護サービスをご利用になる場合、費用の1割をご利用者の方に負担いただくことが必要です。ご利用者の負担割合について、平成27年7月までは、所得にかかわらず一律にサービス費の1割となっていました。

新聞やテレビなどの報道ですでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、8月からは、65歳以上の方(第1号被保険者)のうち、一定以上の所得がある方はサービス費の2割をご負担いただくことになりました。

「介護保険負担割合証」が市町村から交付されますので、「介護保険被保険者証」と併せてサービス利用時に提出してくださいますようお願い申し上げます。

あとがき



真っ青な空にぼっかりと浮かぶ白い雲……。毎日、最高気温更新中の日々が続いています。皆さま、熱中症対策は万全でいらっしゃいますか？

玉音放送が流れたあの日、終戦から70年という節目の年になります。当時の放送を直接聞いた方たちの思いは次世代の人間に受け継がれ、戦争の無い時代が築き上げられたことに感謝いたします。また、未来を担う世代を大切に育てていくために、私達ができることを見据え行動していかねければと、思いを新たにしています。

介護保険の費用負担が変わるなど、高齢者を取り巻く環境が変化しています。厚生労働省は、費用負担の見直しと合わせて、在宅医療と介護の連携を図り、認知症の方が地域で暮らし続けられるような施策を進めているようです。当法人職員も皆様に最新の情報をわかりやすくお伝えできるように研鑽してまいります。

今後とも、当法人では皆様に多種多様な情報を発信してまいりますので、よろしくお願い致します。

(広報委員一同)

